

予習・復習って大切なんだよ!

「一、予習・復習は何のためにあるのか？」

「予習」とは、文字通り「あらかじめ学ぶ」ことにあります。

新しい語句、名称、式などを事前に調べることです。それにより、どう考えてもわからないこと知りたい!、またはより深く知りたい!という欲求が生まれます。それを課題として授業に臨むのです。すると、授業で寝ている暇も息抜きする暇もありません。わかろうと授業に集中するからです。

「復習」とは、文字通り「くりかえし学ぶ」ことにあります。

授業で押さえた事項を、自分の力にすること、また本当に理解できたかを確認することなのです。

予習・復習を繰り返すことで、自分自身の力を蓄積させるのです。言い換えれば、予習・復習を怠れば、授業に参加しても無駄な時間を過ごすことになります。予習・復習は、授業に臨む最低限度やらなければならないことです。



「一、宿題は何のためにあるのか？」

「やらされている」と思っている人は、今日そのことを一新してください。

「宿題」は、予習・復習なのです。

予習・復習が定着していない人にとっては、大変ありがたいものです。授業に臨む最低限度のことができるからです。

「やらされている」と思っている人によくあるパターンを紹介します。

やらされていると思っている人には、宿題は苦痛です。早く終わりたいという気持ちがあり、見直しをしないしノートが雑です。そして、答え合わせをするときに、うっかりミスだと軽い気持ちでミスを見逃します。その積み重ねで、テストでも見直しをしません。テストの時は見直しをするという人もいますが、普段やっていないので見直し方の術を知るはずもなく、見直ししたつもりで終わるのです。

「このミスがなければと...。」と楽観的なことを、いつまでも言っても仕方ありませんよね。